

25. 胃排出時間における抗コリン剤の影響

中西 敏夫 佐藤 友保 谷口 金吾
(広島大・放部)
村上 祥子 井上 正規 梶山 梧朗
(同・一内)
中村 雅之 (県立安芸津病院)

胃排出時間は、消化性潰瘍の病態、上部消化管不定愁訴との関連につき最近注目されているが、今回抗コリン剤の健常者における胃排出能に及ぼす影響について検討した。対象は男性11名で抗コリン剤 **Btropium Bromide**

10, 20, 30 mg, および Placebo を投与後、試験食に Tc-99m-DTPA 1.0 mCi を混和し、5分間隔で1時間撮影した。胃排出時間は、ROI を胃底部にとり経時的にカウント数を片対数としてプロットし回帰直線から $T_{1/2}$ を算出した。

成績、**Btropium Bromide** 内服により胃排出時間は促進した。用量別検討では、胃排出時間との関連はみられなかったが、胃内停滞率で検討すると用量依存性が示唆された。

胃運動検査としては、胃排出時間および胃内停滞率曲線の両者を検討する必要がある。